

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
地球環境化学	地球環境化学（実教出版）	2	工業化学科・第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	環境問題に取り組むためには、原始の地球から豊かな地球へと生まれ変わった過程を学習することが大切です。また、今現在の地球環境の問題点を深く理解し、どのような知識や態度、技術が必要であるかを学びます。
---------	--

2 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査
1 学期	1 地球環境と人間 2 地球環境	4	<ul style="list-style-type: none"> ・46億年の地球の生い立ちを探る。 ・地球大気の仕組みを知り、酸性雨、オゾン層の破壊、地球温暖化の現状と問題点を探る。 ・水環境と水質汚濁、土壌と土壌汚染の現状と問題点を探る。 ・環境と生態系について、地球上の生態系のサイクルについての基礎知識を身につける。 	中間
		5		
		6		期末
		7		
2 学期	3 資源の利用と環境問題	8	<ul style="list-style-type: none"> ・枯渇性エネルギーや再生可能エネルギー資源の基礎知識を身につける。 ・新しいエネルギー技術や、省資源の可能性を探る。 ・身近なものに注目し、廃棄物の発生抑制・再資源化の方法を探る。 ・人工化学物質の環境及び人体に与える影響を認識する。 ・環境測定の実験や簡単な測定技術を学ぶ。 	中間
		9		
		10		
		11		期末
		12		
3 学期	4 環境の調査	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大気測定の実験や基礎知識を学ぶ。 ・水質測定の実験や基礎知識を学ぶ。 ・土壌調査・測定の実験や基礎知識を学ぶ。 	学年末
		2		
		3		

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の測定や、環境保全技術を科学の分野から理解し、その知識や技術が実験・実習の場で実践できるようになる。 ・環境を守ろうとする思考を持ち、その態度が現れる。 ・自然や環境を大切にすることは自分たちを大切にすることに気づいていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間活動のどのような行為が地球環境や私たちの安全な暮らしに関係してくるかを考察し、問題点を掘り起こす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい地球環境の大切さを実感する。 ・中学校の理科や社会科で学んだことと関連させて発表する。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に実施する小テストや定期考査、家庭学習課題等で総合的に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習等の記述内容や発表内容及びレポートやプレゼン内容等で総合的に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

中学校までに理科や社会科で学んできたことを復習し、さらに科学的、専門的に深化させていきます。公害問題、環境問題などの知識やその時感じたことを思い出してください。そして、これから私たちが将来安全に暮らしていくための知識や技術・技能を学んでいくことへの誇りや責任を感じてください。